

2025 年 12 月 15 日
旭 食 品 株 式 会 社

食共創パートナーズ(FCCP)、“いくらのファーストブランド”山十前川商店をグループ化

～DX とマーケティング・セールス強化により、地域水産業の価値向上と食文化の継承を推進～

旭食品株式会社(本社:高知県南国市、代表取締役社長:竹内 孝久、以下「旭食品」)のグループ会社である食共創パートナーズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:竹内 慎、共同代表取締役:林 博文、以下「FCCP」)は、いくらをはじめとする魚介類の水産加工品の製造販売を手掛ける株式会社山十前川商店(本社:北海道根室市、代表取締役会長:宮崎 征伯、以下「山十」)の全株式を取得する契約を、2025年12月15日に締結いたしましたのでお知らせします。



(写真左:山十 代表取締役会長 宮崎 征伯、写真右:FCCP 代表取締役 兼 旭食品株式会社 代表取締役副社長 竹内 慎)

なお、本件の株式取得の成立にあたっては、M&A の仲介およびマッチングを専門とする M&A 支援機構(株式会社プレックス提供サービス)が仲介を担当し、両社の提携実現をサポートしました。

■株式取得の目的

旭食品は、INTLOOP 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:林 博文、以下「INTLOOP」)とともに、日本の食文化の維持・継承および地域経済の活性化を目的として、2025 年 1 月 30 日に合併会社として FCCP を設立しました。

FCCP は「食の未来を共に創り、世界に日本のおいしいを届ける」をミッションに掲げ、食品企業に対して戦略構築、ファイナンス、マーケティング・セールス、業務プロセス改革、組織マネジメントなど、多面的な経営支援を提供しています。これにより、食品企業の企業価値向上と持続的成長の実現を目指しています。

山十は、北海道根室市を拠点とする道東地域有数の水産加工・卸売企業で、1947 年の創業以来、主要 5 品目(いくら、秋鮭、さんま、鱈、ほたて)に強みを持ち、“いくらのファーストブランド”として全国の高級すし店や水産関係者などから高い評価を得ています。このたび山十が FCCP グループに参画することで、食品卸・コンサルティング・ファンド機能を掛け合わせた総合的な支援が可能となります。

今後は、旭食品が保有する食品業界の知見や販売ネットワーク・物流機能、INTLOOP が有する経営コンサルティングおよび DX・業務効率化の専門性を、FCCP を通じて最大限に活用してまいります。具体的には、いくらの製品ラインナップ拡充、D2C 販売の開始、デジタルマーケティングによる LTV 最大化に加え、データ共通基盤の導入などによる DX 推進を含む多方面からのバリューアップを図り、日本の食文化を次世代へ継承していくことを目指します。

■株式取得する対象会社の概要

名 称:株式会社山十前川商店

所 在 地:北海道根室市西浜町10丁目177番地

代 表 者:代表取締役会長 宮崎 征伯

事業内容:水産加工・卸業

資 本 金:21,441 千円

設 立:2022 年 12 月(1947 年創業)

■株式取得を行うグループ会社の概要

名 称:食共創パートナーズ株式会社(FCCP:Food Co-Creation Partners)

所 在 地:東京都港区赤坂2丁目4-6 赤坂グリーンクロス27階

代 表 者:代表取締役 竹内 慎、共同代表取締役 林 博文

事業内容:食品業の経営事業及びこれに附随する事業等

資本金等:980 百万円(資本金:490 百万円、資本準備金:490 百万円)

設 立:2025 年 1 月

問合せ先

旭食品株式会社 経営企画部 担当:岡林

電話:088-880-8720